



蜂 印

1W

Ethanol

日本薬局方

エタノール

*エタノール〈八チ〉

500mL

使用期限

製造番号

販売

小野薬品工業株式会社

大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

製造販売

東洋製薬化成株式会社

大阪市鶴見区鶴見2丁目5番4号

GS1<調剤包装単位>



(01)04987039457646

GS1<販売包装単位>



(01)14987039115093

**2017年10月改訂(第9版)

*2015年 6月改訂

日本標準商品分類番号

872615

承認番号 (61AM)3152

薬価収載 1986年3月

販売開始 1986年3月

再評価結果 1982年8月

貯法: 遮光、気密容器

火気を避けて保存

使用期限: ラベルに表示(3年)

外皮用殺菌消毒剤

禁忌(次の部位には使用しないこと)

損傷皮膚及び粘膜〔刺激作用を有するので〕

【組成・性状】

1. 組成

本剤は15℃でエタノール(C₂H₆O)95.1~96.9vol%を含む(比重による)。

**2. 性状

無色澄明の液である。水と混和する。燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。揮発性である。

比重d₄: 0.80872~0.81601

【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒

【用法・用量】

本品830mLを精製水でうすめて1000mLとし、これを消毒部位に塗布する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注)}	発疹等の過敏症状
皮膚 ^{注)}	刺激症状

注) 使用を中止すること。

2. 適用上の注意

(1)人体

ア、原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。

イ、眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。

ウ、広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

エ、同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れをおこすことがあるので注意すること。

(2)その他

本剤は血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

3. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝硬塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】

○エタノールは、使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)、及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

○エタノールは微生物の細胞膜を通し、溶性たん白の変性、表面張力の低下に関係する。又、組織水分を奪ってたん白を凝固させるので高濃度の場合菌膜のたん白凝固に止まるが、約70%の濃度では細胞内に侵入して防腐、殺菌作用を現す。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. 一般名: エタノール
2. 性状: 【組成・性状】 2.性状の項参照

【取扱い上の注意】

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐蝕を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。

【文献請求先】

東洋製薬化成株式会社 医薬情報部

〒533-0031

大阪市東淀川区西淡路5丁目20番19号

電話 0120-443-471



ガラス: 瓶

アルコール類
水溶性
危険等級II
火気厳禁